江田島市の学校のあり方に関する保護者アンケート集計結果

令和８年２月４日
江田島市教育委員会
（学校教育課）

実施期間：令和7年12月3日（水）～令和7年12月26日（金）　対象者数：967人　回答者数：484人　回答率：50.05%

〇集計方法について
割合、選択率は各項目ごとの全体数で除したものを小数点第2位で四捨五入（端数調整はなし≒100%）
各地区集計には、第1部問4で「どこにも在籍していない」と回答された方は含まれない
各地区集計は第1部問4の施設所在地ごとで集計

第1部

1 回答者について当てはまるものをお選びください。
※「その他」について：祖父母等 と記載してください。

項目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
父	89	18.39%	33	17.46%	39	18.48%	17	20.24%	8	0.25806	22	17.46%	35	21.08%	1	5.26%	12	11.76%
母	389	80.37%	154	81.48%	170	80.57%	65	77.38%	22	0.70968	101	80.16%	129	77.71%	18	94.74%	90	88.24%
その他	6	1.24%	2	1.06%	2	0.95%	2	2.38%	1	0.03226	3	2.38%	2	1.20%	0	0.00%	0	0.00%

2 あなたの年齢（令和7年4月1日現在の満年齢）をお選びください。

項目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
10代	1	0.21%	1	0.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.60%	0	0.00%	0	0.00%
20代	25	5.17%	21	14.09%	4	1.90%	0	0.00%	5	16.13%	4	3.17%	7	4.22%	1	5.26%	4	3.92%
30代	183	37.81%	117	78.52%	61	28.91%	5	5.95%	7	22.58%	43	34.13%	57	34.34%	8	42.11%	43	42.16%
40代	226	46.69%	48	32.21%	128	60.66%	50	59.52%	15	48.39%	63	50.00%	81	48.80%	8	42.11%	48	47.06%
50代	44	9.09%	2	1.34%	16	7.58%	26	30.95%	3	9.68%	14	11.11%	18	10.84%	2	10.53%	7	6.86%
60代以上	5	1.03%	0	0.00%	2	0.95%	3	3.57%	1	3.23%	2	1.59%	2	1.20%	0	0.00%	0	0.00%

3 あなたの江田島市の在住歴をお選びください。

項目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
5年未満	64	13.22%	45	30.20%	17	8.06%	2	2.38%	7	22.58%	12	9.52%	26	15.66%	1	5.26%	6	5.88%
5～10年未満	72	14.88%	43	28.86%	27	12.80%	2	2.38%	4	12.90%	23	18.25%	22	13.25%	1	5.26%	15	14.71%
10～20年未満	114	23.55%	29	19.46%	65	30.81%	20	23.81%	6	19.35%	26	20.63%	39	23.49%	6	31.58%	29	28.43%
20年以上	234	48.35%	72	48.32%	102	48.34%	60	71.43%	14	45.16%	65	51.59%	79	47.59%	11	57.89%	52	50.98%

4 現在一番年齢が下のお子様が在籍しているこども園もしくは学校名等をお選びください。

項目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
どこにも在籍していない	40	8.26%	40	26.85%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
認定こども園えたじま	37	7.64%	37	24.83%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	37	29.37%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
認定こども園きりくし	14	2.89%	14	9.40%	0	0.00%	0	0.00%	14	45.16%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
認定こども園のうみ	53	10.95%	53	35.57%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	53	31.93%	0	0.00%	0	0.00%
認定こども園みたか	6	1.24%	6	4.03%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	6	31.58%	0	0.00%
認定こども園おおがき	39	8.06%	39	26.17%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	39	38.24%
切串小学校	17	3.51%	0	0.00%	17	8.06%	0	0.00%	17	54.84%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
江田島小学校	63	13.02%	0	0.00%	63	29.86%	0	0.00%	0	0.00%	63	50.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
中町小学校	41	8.47%	0	0.00%	41	19.43%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	41	24.70%	0	0.00%	0	0.00%
鹿川小学校	28	5.79%	0	0.00%	28	13.27%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	28	16.87%	0	0.00%	0	0.00%
三高小学校	13	2.69%	0	0.00%	13	6.16%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	13	68.42%	0	0.00%
大古小学校	49	10.12%	0	0.00%	49	23.22%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	49	48.04%
江田島中学校	26	5.37%	0	0.00%	0	0.00%	26	30.95%	0	0.00%	26	20.63%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
能美中学校	44	9.09%	0	0.00%	0	0.00%	44	52.38%	0	0.00%	0	0.00%	44	26.51%	0	0.00%	0	0.00%
大柿中学校	14	2.89%	0	0.00%	0	0.00%	14	16.67%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	14	13.73%

5―1 現在一番下のお子様の年齢をお選びください。
（「4」で「どこにも在籍していない」を選択した場合）

項目	全体 484		こども園以下 189															
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
0歳	18	45.00%	18	45.00%														
1歳	11	27.50%	11	27.50%														
2歳	6	15.00%	6	15.00%														
3歳	4	10.00%	4	10.00%														
4歳	1	2.50%	1	2.50%														
5歳	0	0.00%	0	0.00%														
6歳	0	0.00%	0	0.00%														

5－2 現在一番年齢が下のお子様のこども園の所属をお選びください。
（「4」で「こども園」を選択した場合）

項　　目	全体 149		こども園以下 149						切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
未満児クラス	57	38.26%	57	38.26%					7	22.58%	10	7.94%	23	13.86%	3	15.79%	14	13.73%
年少クラス	32	21.48%	32	21.48%					3	9.68%	9	7.14%	10	6.02%	0	0.00%	10	9.80%
年中クラス	33	22.15%	33	22.15%					1	3.23%	9	7.14%	12	7.23%	3	15.79%	8	7.84%
年長クラス	27	18.12%	27	18.12%					3	9.68%	9	7.14%	8	4.82%	0	0.00%	7	6.86%

5―3 現在一番年齢が下のお子様の学年をお選びください。
（「4」で「小学校」及び「中学校」を選択した場合）

項　　目	全体 295				小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
小1年	31	10.51%			31	14.69%	0	0.00%	2	6.45%	12	9.52%	7	4.22%	0	0.00%	10	9.80%
小2年	39	13.22%			39	18.48%	0	0.00%	2	6.45%	12	9.52%	14	8.43%	5	26.32%	6	5.88%
小3年	31	10.51%			31	14.69%	0	0.00%	2	6.45%	10	7.94%	12	7.23%	3	15.79%	4	3.92%
小4年	47	15.93%			47	22.27%	0	0.00%	6	19.35%	12	9.52%	15	9.04%	2	10.53%	12	11.76%
小5年	25	8.47%			25	11.85%	0	0.00%	4	12.90%	8	6.35%	7	4.22%	0	0.00%	6	5.88%
小6年	38	12.88%			38	18.01%	0	0.00%	1	3.23%	9	7.14%	14	8.43%	3	15.79%	11	10.78%
中1年	26	8.81%			0	0.00%	26	30.95%	0	0.00%	7	5.56%	13	7.83%	0	0.00%	6	5.88%
中2年	31	10.51%			0	0.00%	31	36.90%	0	0.00%	10	7.94%	19	11.45%	0	0.00%	2	1.96%
中3年	27	9.15%			0	0.00%	27	32.14%	0	0.00%	9	7.14%	12	7.23%	0	0.00%	6	5.88%

6 現在一番年齢が下のお子様の普段の通学手段（2つ以上組み合わせている場合は全て）をお選びください。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)
徒歩	166	56.27%	17	8.99%	115	54.50%	34	40.48%	13	41.94%	21	16.67%	66	39.76%	13	68.42%	48	47.06%
自転車	17	5.76%	7	3.70%	0	0.00%	10	11.90%	3	9.68%	2	1.59%	6	3.61%	1	5.26%	5	4.90%
路線バス	89	30.17%	1	0.53%	63	29.86%	25	29.76%	0	0.00%	47	37.30%	21	12.65%	0	0.00%	20	19.61%
スクールバス	65	22.03%	2	1.06%	46	21.80%	17	20.24%	6	19.35%	26	20.63%	28	16.87%	0	0.00%	3	2.94%
自家用車	232	78.64%	106	56.08%	54	25.59%	20	23.81%	15	48.39%	62	49.21%	76	45.78%	7	36.84%	55	53.92%
その他	22	7.46%	19	10.05%	1	0.47%	2	2.38%	0	0.00%	1	0.79%	2	1.20%	0	0.00%	0	0.00%

第2部

1 江田島市の学校教育に満足していますか。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても満足している	58	11.98%	22	11.64%	26	12.32%	10	11.90%	4	12.90%	13	10.32%	23	13.86%	2	10.53%	11	10.78%
どちらかといえば、満足している	267	55.17%	95	50.26%	124	58.77%	48	57.14%	16	51.61%	79	62.70%	93	56.02%	12	63.16%	53	51.96%
あまり満足していない	86	17.77%	27	14.29%	39	18.48%	20	23.81%	6	19.35%	21	16.67%	32	19.28%	3	15.79%	18	17.65%
全く満足していない	16	3.31%	6	3.17%	8	3.79%	2	2.38%	1	3.23%	2	1.59%	4	2.41%	1	5.26%	7	6.86%
わからない	57	11.78%	39	20.63%	14	6.64%	4	4.76%	4	12.90%	11	8.73%	14	8.43%	1	5.26%	13	12.75%

2 江田島市がめざすこれからの教育(別紙参考資料「江田島市の学校の状況について」の3～4ページに示す項目)についてどの程度重要だとお考えですか。当てはまるものをお選びください。
①知・徳・体のバランスのとれた育成

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	314	64.88%	139	73.54%	126	59.72%	49	58.33%	16	51.61%	85	67.46%	109	65.66%	15	78.95%	58	56.86%
どちらかといえば、重要だと思う	146	30.17%	42	22.22%	79	37.44%	25	29.76%	13	41.94%	38	30.16%	46	27.71%	4	21.05%	38	37.25%
どちらかといえば、重要だと思わない	12	2.48%	2	1.06%	4	1.90%	6	7.14%	1	3.23%	2	1.59%	6	3.61%	0	0.00%	3	2.94%
全く重要だと思わない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
わからない	12	2.48%	6	3.17%	2	0.95%	4	4.76%	1	3.23%	1	0.79%	5	3.01%	0	0.00%	3	2.94%

②持続可能な社会の創り手となる資質・能力の育成

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	259	53.51%	112	59.26%	109	51.66%	38	45.24%	10	32.26%	64	50.79%	92	55.42%	14	73.68%	51	50.00%
どちらかといえば、重要だと思う	198	40.91%	68	35.98%	92	43.60%	38	45.24%	18	58.06%	60	47.62%	62	37.35%	4	21.05%	46	45.10%
どちらかといえば、重要だと思わない	9	1.86%	3	1.59%	2	0.95%	4	4.76%	2	6.45%	0	0.00%	5	3.01%	0	0.00%	1	0.98%
全く重要だと思わない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
わからない	18	3.72%	6	3.17%	8	3.79%	4	4.76%	1	3.23%	2	1.59%	7	4.22%	1	5.26%	4	3.92%

③江田島市独自の魅力的で特色ある教育の展開

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	207	42.77%	90	47.62%	86	40.76%	31	36.90%	10	32.26%	54	42.86%	78	46.99%	8	42.11%	33	32.35%
どちらかといえば、重要だと思う	211	43.60%	71	37.57%	102	48.34%	38	45.24%	14	45.16%	59	46.83%	64	38.55%	10	52.63%	52	50.98%
どちらかといえば、重要だと思わない	39	8.06%	18	9.52%	11	5.21%	10	11.90%	5	16.13%	9	7.14%	12	7.23%	1	5.26%	10	9.80%
全く重要だと思わない	5	1.03%	2	1.06%	2	0.95%	1	1.19%	0	0.00%	0	0.00%	3	1.81%	0	0.00%	1	0.98%
わからない	22	4.55%	8	4.23%	10	4.74%	4	4.76%	2	6.45%	4	3.17%	9	5.42%	0	0.00%	6	5.88%

④多様な教育ニーズへの対応の推進

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	260	53.72%	111	58.73%	109	51.66%	40	47.62%	10	32.26%	70	55.56%	88	53.01%	14	73.68%	55	53.92%
どちらかといえば、重要だと思う	191	39.46%	63	33.33%	91	43.13%	37	44.05%	15	48.39%	50	39.68%	67	40.36%	4	21.05%	42	41.18%
どちらかといえば、重要だと思わない	18	3.72%	7	3.70%	5	2.37%	6	7.14%	4	12.90%	3	2.38%	6	3.61%	1	5.26%	2	1.96%
全く重要だと思わない	2	0.41%	2	1.06%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.79%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
わからない	13	2.69%	6	3.17%	6	2.84%	1	1.19%	2	6.45%	2	1.59%	5	3.01%	0	0.00%	3	2.94%

⑤教育デジタルトランスフォーメーションの推進

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	206	42.56%	77	40.74%	96	45.50%	33	39.29%	9	29.03%	57	45.24%	76	45.78%	9	47.37%	39	38.24%
どちらかといえば、重要だと思う	207	42.77%	82	43.39%	88	41.71%	37	44.05%	12	38.71%	57	45.24%	64	38.55%	9	47.37%	50	49.02%
どちらかといえば、重要だと思わない	31	6.40%	14	7.41%	10	4.74%	7	8.33%	4	12.90%	4	3.17%	14	8.43%	1	5.26%	4	3.92%
全く重要だと思わない	9	1.86%	4	2.12%	4	1.90%	1	1.19%	3	9.68%	2	1.59%	1	0.60%	0	0.00%	0	0.00%
わからない	31	6.40%	12	6.35%	13	6.16%	6	7.14%	3	9.68%	6	4.76%	11	6.63%	0	0.00%	9	8.82%

⑥校種間(こども園、小学校、中学校、高等学校)の連携の推進

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	221	45.66%	105	55.56%	93	44.08%	23	27.38%	16	51.61%	49	38.89%	76	45.78%	8	42.11%	50	49.02%
どちらかといえば、重要だと思う	214	44.21%	70	37.04%	96	45.50%	48	57.14%	11	35.48%	66	52.38%	70	42.17%	8	42.11%	45	44.12%
どちらかといえば、重要だと思わない	27	5.58%	5	2.65%	14	6.64%	8	9.52%	2	6.45%	7	5.56%	11	6.63%	3	15.79%	3	2.94%
全く重要だと思わない	3	0.62%	2	1.06%	0	0.00%	1	1.19%	0	0.00%	0	0.00%	2	1.20%	0	0.00%	0	0.00%
わからない	19	3.93%	7	3.70%	8	3.79%	4	4.76%	2	6.45%	4	3.17%	7	4.22%	0	0.00%	4	3.92%

⑦教職員の資質・指導力の向上

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	351	72.52%	135	71.43%	161	76.30%	55	65.48%	26	83.87%	87	69.05%	121	72.89%	16	84.21%	73	71.57%
どちらかといえば、重要だと思う	116	23.97%	50	26.46%	42	19.91%	24	28.57%	3	9.68%	34	26.98%	38	22.89%	3	15.79%	27	26.47%
どちらかといえば、重要だと思わない	7	1.45%	1	0.53%	3	1.42%	3	3.57%	1	3.23%	3	2.38%	3	1.81%	0	0.00%	0	0.00%
全く重要だと思わない	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
わからない	10	2.07%	3	1.59%	5	2.37%	2	2.38%	1	3.23%	2	1.59%	4	2.41%	0	0.00%	2	1.96%

⑧学校と地域・家庭がパートナーとなって取組を進めていくための新たな仕組みの構築

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	201	41.53%	98	51.85%	75	35.55%	28	33.33%	10	32.26%	42	33.33%	78	46.99%	9	47.37%	36	35.29%
どちらかといえば、重要だと思う	221	45.66%	77	40.74%	101	47.87%	43	51.19%	17	54.84%	67	53.17%	64	38.55%	7	36.84%	55	53.92%
どちらかといえば、重要だと思わない	39	8.06%	6	3.17%	24	11.37%	9	10.71%	1	3.23%	12	9.52%	15	9.04%	2	10.53%	8	7.84%
全く重要だと思わない	7	1.45%	2	1.06%	4	1.90%	1	1.19%	1	3.23%	1	0.79%	3	1.81%	1	5.26%	0	0.00%
わからない	16	3.31%	6	3.17%	7	3.32%	3	3.57%	2	6.45%	4	3.17%	6	3.61%	0	0.00%	3	2.94%

⑨大柿高等学校の存続に向けた支援

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	180	37.19%	63	33.33%	76	36.02%	41	48.81%	8	25.81%	36	28.57%	66	39.76%	4	21.05%	51	50.00%
どちらかといえば、重要だと思う	161	33.26%	64	33.86%	74	35.07%	23	27.38%	8	25.81%	53	42.06%	46	27.71%	9	47.37%	32	31.37%
どちらかといえば、重要だと思わない	67	13.84%	28	14.81%	31	14.69%	8	9.52%	6	19.35%	20	15.87%	18	10.84%	6	31.58%	11	10.78%
全く重要だと思わない	22	4.55%	13	6.88%	8	3.79%	1	1.19%	3	9.68%	5	3.97%	9	5.42%	0	0.00%	2	1.96%
わからない	54	11.16%	21	11.11%	22	10.43%	11	13.10%	6	19.35%	12	9.52%	27	16.27%	0	0.00%	6	5.88%

⑩部活動の地域展開

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	171	35.33%	81	42.86%	69	32.70%	21	25.00%	7	22.58%	34	26.98%	57	34.34%	8	42.11%	46	45.10%
どちらかといえば、重要だと思う	212	43.80%	73	38.62%	94	44.55%	45	53.57%	11	35.48%	68	53.97%	73	43.98%	5	26.32%	40	39.22%
どちらかといえば、重要だと思わない	46	9.50%	15	7.94%	24	11.37%	7	8.33%	7	22.58%	12	9.52%	17	10.24%	3	15.79%	5	4.90%
全く重要だと思わない	13	2.69%	3	1.59%	8	3.79%	2	2.38%	1	3.23%	2	1.59%	4	2.41%	1	5.26%	5	4.90%
わからない	42	8.68%	17	8.99%	16	7.58%	9	10.71%	5	16.13%	10	7.94%	15	9.04%	2	10.53%	6	5.88%

⑪地場産品を使った学校給食

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	225	46.49%	86	45.50%	103	48.82%	36	42.86%	13	41.94%	54	42.86%	77	46.39%	11	57.89%	47	46.08%
どちらかといえば、重要だと思う	206	42.56%	87	46.03%	88	41.71%	36	42.86%	15	48.39%	60	47.62%	68	40.96%	5	26.32%	44	43.14%
どちらかといえば、重要だと思わない	32	6.61%	10	5.29%	11	5.21%	11	13.10%	1	3.23%	8	6.35%	12	7.23%	3	15.79%	7	6.86%
全く重要だと思わない	9	1.86%	5	2.65%	4	1.90%	1	1.19%	1	3.23%	1	0.79%	5	3.01%	0	0.00%	1	0.98%
わからない	12	2.48%	6	3.17%	5	2.37%	0	0.00%	1	3.23%	3	2.38%	4	2.41%	0	0.00%	3	2.94%

⑫学校施設の修繕、設備や教材及びICT環境の充実

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	282	58.26%	123	65.08%	118	55.92%	41	48.81%	11	35.48%	71	56.35%	104	62.65%	13	68.42%	58	56.86%
どちらかといえば、重要だと思う	172	35.54%	54	28.57%	80	37.91%	38	45.24%	15	48.39%	50	39.68%	54	32.53%	5	26.32%	36	35.29%
どちらかといえば、重要だと思わない	11	2.27%	4	2.12%	5	2.37%	2	2.38%	2	6.45%	2	1.59%	3	1.81%	1	5.26%	2	1.96%
全く重要だと思わない	4	0.83%	0	0.00%	2	0.95%	2	2.38%	1	3.23%	1	0.79%	1	0.60%	0	0.00%	1	0.98%
わからない	15	3.10%	8	4.23%	6	2.84%	1	1.19%	2	6.45%	2	1.59%	4	2.41%	0	0.00%	5	4.90%

⑬学校規模の適正化及び適正配置

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	263	54.34%	113	59.79%	112	53.08%	38	45.24%	15	48.39%	63	50.00%	101	60.84%	12	63.16%	51	50.00%
どちらかといえば、重要だと思う	173	35.74%	57	30.16%	80	37.91%	36	42.86%	11	35.48%	54	42.86%	47	28.31%	6	31.58%	41	40.20%
どちらかといえば、重要だと思わない	11	2.27%	4	2.12%	2	0.95%	5	5.95%	0	0.00%	3	2.38%	5	3.01%	0	0.00%	1	0.98%
全く重要だと思わない	7	1.45%	4	2.12%	2	0.95%	1	1.19%	2	6.45%	0	0.00%	1	0.60%	0	0.00%	3	2.94%
わからない	30	6.20%	11	5.82%	15	7.11%	4	4.76%	3	9.68%	6	4.76%	12	7.23%	1	5.26%	6	5.88%

⑭教職員が元気・笑顔で勤務できる環境の充実

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
とても重要だと思う	352	72.73%	151	79.89%	144	68.25%	57	67.86%	21	67.74%	86	68.25%	123	74.10%	13	68.42%	76	74.51%
どちらかといえば、重要だと思う	111	22.93%	32	16.93%	56	26.54%	23	27.38%	8	25.81%	36	28.57%	33	19.88%	5	26.32%	24	23.53%
どちらかといえば、重要だと思わない	4	0.83%	0	0.00%	2	0.95%	2	2.38%	0	0.00%	1	0.79%	3	1.81%	0	0.00%	0	0.00%
全く重要だと思わない	3	0.62%	1	0.53%	1	0.47%	1	1.19%	0	0.00%	1	0.79%	2	1.20%	0	0.00%	0	0.00%
わからない	14	2.89%	5	2.65%	8	3.79%	1	1.19%	2	6.45%	2	1.59%	5	3.01%	1	5.26%	2	1.96%

第3部

1 人数の少ない学校(1学年10名以下または複式学級)で「よい」と思われるものの中から、3つ以内でお選びください。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)
先生が一人ひとりの学習状況や学習内容の定着状況を把握しやすくなる	337	69.63%	135	71.43%	142	67.30%	60	71.43%	19	61.29%	90	71.43%	117	70.48%	14	73.68%	73	71.57%
補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導が行いやすくなる	266	54.96%	103	54.50%	115	54.50%	48	57.14%	8	25.81%	70	55.56%	101	60.84%	7	36.84%	63	61.76%
学級での人数が少ないため、意見や感想を発表できる機会が多くなる	160	33.06%	68	35.98%	72	34.12%	20	23.81%	12	38.71%	38	30.16%	55	33.13%	6	31.58%	33	32.35%
様々な活動においてリーダーを務める機会が増える	79	16.32%	29	15.34%	35	16.59%	15	17.86%	5	16.13%	20	15.87%	24	14.46%	3	15.79%	22	21.57%
運動場や体育館等が余裕をもって使える	37	7.64%	13	6.88%	19	9.00%	5	5.95%	6	19.35%	6	4.76%	11	6.63%	4	21.05%	8	7.84%
教材・教具など一人一人に行き渡らせやすくなる	65	13.43%	31	16.40%	28	13.27%	6	7.14%	6	19.35%	15	11.90%	17	10.24%	3	15.79%	20	19.61%
異年齢の学習活動を組みやすくなる	69	14.26%	28	14.81%	31	14.69%	10	11.90%	6	19.35%	17	13.49%	25	15.06%	2	10.53%	14	13.73%
様々な体験学習や校外学習が機動的に行うことができる	86	17.77%	35	18.52%	38	18.01%	13	15.48%	4	12.90%	22	17.46%	25	15.06%	3	15.79%	21	20.59%
地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい	43	8.88%	14	7.41%	22	10.43%	7	8.33%	5	16.13%	5	3.97%	15	9.04%	0	0.00%	13	12.75%
家庭的な雰囲気の中で学習活動ができる	53	10.95%	24	12.70%	23	10.90%	6	7.14%	3	9.68%	10	7.94%	22	13.25%	3	15.79%	10	9.80%
特にない	30	6.20%	10	5.29%	13	6.16%	7	8.33%	3	9.68%	10	7.94%	10	6.02%	2	10.53%	1	0.98%
その他(　　)	3	0.62%	2	1.06%	0	0.00%	1	1.19%	1	3.23%	0	0.00%	1	0.60%	0	0.00%	0	0.00%

2 人数の少ない学校(1学年10名以下または複式学級)で「よくない」と思われるものの中から、3つ以内でお選びください。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	選択率(%)
男女比の偏りが生じやすくなる	90	18.60%	40	21.16%	36	17.06%	14	16.67%	4	12.90%	19	15.08%	34	20.48%	2	10.53%	21	20.59%
班活動やグループ分けがしにくく、いつも同じメンバーになる	196	40.50%	71	37.57%	89	42.18%	36	42.86%	11	35.48%	51	40.48%	69	41.57%	9	47.37%	47	46.08%
体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施が難しくなる	171	35.33%	66	34.92%	69	32.70%	36	42.86%	7	22.58%	42	33.33%	58	34.94%	7	36.84%	41	40.20%
同じ学年のクラス同士が競い合ったりする教育活動ができない	112	23.14%	45	23.81%	53	25.12%	14	16.67%	9	29.03%	21	16.67%	46	27.71%	2	10.53%	25	24.51%
習熟度別指導などクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい	29	5.99%	11	5.82%	16	7.58%	2	2.38%	4	12.90%	6	4.76%	7	4.22%	2	10.53%	6	5.88%
クラブ活動や部活動の種類が限定される	187	38.64%	69	36.51%	86	40.76%	32	38.10%	10	32.26%	39	30.95%	65	39.16%	11	57.89%	45	44.12%
ずっとクラスが変わらないため、人間関係の固定化が懸念される	263	54.34%	106	56.08%	115	54.50%	42	50.00%	20	64.52%	76	60.32%	81	48.80%	7	36.84%	59	57.84%
特定の児童生徒の発言や行動にクラス全体が大きく影響を受けることがある	102	21.07%	43	22.75%	44	20.85%	15	17.86%	8	25.81%	28	22.22%	32	19.28%	5	26.32%	21	20.59%
児童生徒から多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる	37	7.64%	19	10.05%	14	6.64%	4	4.76%	2	6.45%	7	5.56%	15	9.04%	2	10.53%	8	7.84%
教員と児童生徒との心理的な距離が近くなりすぎ、過度に依存するようになる可能性がある	16	3.31%	7	3.70%	6	2.84%	3	3.57%	1	3.23%	4	3.17%	5	3.01%	0	0.00%	4	3.92%
複式学級の場合、兄弟姉妹が同じ学級になる可能性がある	21	4.34%	7	3.70%	13	6.16%	1	1.19%	1	3.23%	8	6.35%	6	3.61%	3	15.79%	2	1.96%
特にない	28	5.79%	11	5.82%	9	4.27%	8	9.52%	2	6.45%	9	7.14%	10	6.02%	1	5.26%	5	4.90%
その他(　　)	6	1.24%	1	0.53%	3	1.42%	2	2.38%	1	3.23%	1	0.79%	2	1.20%	0	0.00%	1	0.98%

3 小学校では、2つの学年合わせて16人以下(小学校1年生を含む場合は8人)の場合は複式学級となります。小学校の複式学級に関するお考えをお選びください。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
できるだけ避けるべきである	194	40.08%	86	45.50%	80	37.91%	28	33.33%	12	38.71%	57	45.24%	58	34.94%	7	36.84%	40	39.22%
やむを得ない	238	49.17%	82	43.39%	107	50.71%	49	58.33%	16	51.61%	56	44.44%	86	51.81%	9	47.37%	54	52.94%
特に支障はない	39	8.06%	15	7.94%	19	9.00%	5	5.95%	2	6.45%	11	8.73%	17	10.24%	3	15.79%	5	4.90%
その他(　　)	13	2.69%	6	3.17%	5	2.37%	2	2.38%	1	3.23%	2	1.59%	5	3.01%	0	0.00%	3	2.94%

4 国の定める小学校の1学級当たりの人数の上限は35人です。小学校の1学級当たりの人数は何人くらいが適当だと思いますか。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
30人以上	41	8.47%	12	6.35%	19	9.00%	10	11.90%	0	0.00%	10	7.94%	15	9.04%	1	5.26%	10	9.80%
20人～29人	324	66.94%	130	68.78%	139	65.88%	56	66.67%	18	58.06%	96	76.19%	100	60.24%	11	57.89%	71	69.61%
10人～19人	102	21.07%	40	21.16%	43	20.38%	16	19.05%	10	32.26%	18	14.29%	44	26.51%	5	26.32%	18	17.65%
9人以下	2	0.41%	0	0.00%	2	0.95%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.60%	1	5.26%	0	0.00%
わからない	15	3.10%	5	2.65%	8	3.79%	2	2.38%	3	9.68%	2	1.59%	6	3.61%	1	5.26%	3	2.94%

5 ひとつの小学校の児童数に関するお考えをお選びください。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
複式学級ができる程度の少ない人数でもよい	71	14.67%	27	14.29%	29	13.74%	15	17.86%	12	38.71%	13	10.32%	25	15.06%	3	15.79%	11	10.78%
各学年1クラス人数がよい	205	42.36%	79	41.80%	95	45.02%	31	36.90%	9	29.03%	49	38.89%	79	47.59%	9	47.37%	47	46.08%
各学年クラス替えできる程度の人数はいた方がよい	199	41.12%	80	42.33%	83	39.34%	36	42.86%	9	29.03%	62	49.21%	60	36.14%	7	36.84%	41	40.20%
その他(　　)	9	1.86%	3	1.59%	4	1.90%	2	2.38%	1	3.23%	2	1.59%	2	1.20%	0	0.00%	3	2.94%

6 今後、小学校の児童数がさらに減少した場合、市がとるべき対応として最適なものはどれですか。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
児童数や学級数について学校間で差が生じても、学校の統合は行わない	126	26.03%	54	28.57%	62	29.38%	10	11.90%	17	54.84%	32	25.40%	32	19.28%	3	15.79%	33	32.35%
通学区域の一部を見直し(例えばこれまでA地区はA小学校が指定校だったものを、B小学校を指定校にする)、どの小学校も同じ程度の児童数となるよう調整する	117	24.17%	38	20.11%	55	26.07%	24	28.57%	6	19.35%	36	28.57%	44	26.51%	4	21.05%	20	19.61%
複数の学校を統合し、児童数を確保する	217	44.83%	86	45.50%	86	40.76%	45	53.57%	8	25.81%	54	42.86%	83	50.00%	11	57.89%	41	40.20%
その他(　　)	24	4.96%	11	5.82%	8	3.79%	5	5.95%	0	0.00%	4	3.17%	7	4.22%	1	5.26%	8	7.84%

7 国の定める中学校の1学級当たりの人数は40人が上限ですが、今後段階的に引き下げられ令和10年度には全ての学年35人が上限となります。中学校の1学級当たりの人数は何人くらいが適当だと思いますか。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
30人以上	89	18.39%	36	19.05%	38	18.01%	15	17.86%	4	12.90%	21	16.67%	36	21.69%	0	0.00%	19	18.63%
20人～29人	321	66.32%	127	67.20%	140	66.35%	54	64.29%	21	67.74%	92	73.02%	100	60.24%	13	68.42%	67	65.69%
10人～19人	51	10.54%	18	9.52%	21	9.95%	12	14.29%	3	9.68%	11	8.73%	19	11.45%	4	21.05%	12	11.76%
9人以下	1	0.21%	0	0.00%	1	0.47%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	1	0.60%	0	0.00%	0	0.00%
わからない	22	4.55%	8	4.23%	11	5.21%	3	3.57%	3	9.68%	2	1.59%	10	6.02%	2	10.53%	4	3.92%

8 ひとつの中学校として望ましい生徒数に関するお考えをお選びください。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
各学年1クラス程度の少ない人数でもよい	159	32.85%	61	32.28%	69	32.70%	29	34.52%	13	41.94%	40	31.75%	48	28.92%	4	21.05%	42	41.18%
各学年クラス替えできる程度の人数は必要	240	49.59%	88	46.56%	108	51.18%	44	52.38%	15	48.39%	67	53.17%	82	49.40%	15	78.95%	44	43.14%
各学年複数のクラスができる多い人数がよい	76	15.70%	37	19.58%	29	13.74%	10	11.90%	2	6.45%	17	13.49%	33	19.88%	0	0.00%	14	13.73%
その他(　　)	9	1.86%	3	1.59%	5	2.37%	1	1.19%	1	3.23%	2	1.59%	3	1.81%	0	0.00%	2	1.96%

9 今後、中学校の生徒数がさらに減少した場合、市がとるべき対応として最適なものはどれですか。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)	回答数	割合(%)
生徒数や学級数について学校間で差が生じても、学校の統合は行わない	114	23.55%	43	22.75%	55	26.07%	16	19.05%	11	35.48%	32	25.40%	30	18.07%	2	10.53%	31	30.39%
通学区域の一部を見直し(例えばこれまでA地区はA中学校が指定校だったものを、B中学校を指定校にする)、どの中学校も同じ程度の生徒数となるよう調整する	127	26.24%	41	21.69%	63	29.86%	23	27.38%	9	29.03%	36	28.57%	43	25.90%	6	31.58%	22	21.57%
複数の学校を統合し、生徒数を確保する	224	46.28%	95	50.26%	86	40.76%	43	51.19%	10	32.26%	55	43.65%	87	52.41%	10	52.63%	44	43.14%
その他(　　)	19	3.93%	10	5.29%	7	3.32%	2	2.38%	1	3.23%	3	2.38%	6	3.61%	1	5.26%	5	4.90%

10 学校規模の適正化(統合等)を行う場合、どのような点に配慮すべきだと考えますか。3つ以内でお選びください。

項　　目	全体 484		こども園以下 189		小学校 211		中学校 84		切串地区 31		江田島地区 126		能美地区 166		三高地区 19		大柿地区 102	
	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)	回答数	選択率(%)
児童生徒数	189	39.05%	71	37.57%	82	38.86%	36	42.86%	10	32.26%	44	34.92%	72	43.37%	6	31.58%	42	41.18%
通学距離・通学時間・通学方法	369	76.24%	144	76.19%	160	75.83%	65	77.38%	28	90.32%	99	78.57%	124	74.70%	15	78.95%	78	76.47%
教育の質の維持・向上	286	59.09%	114	60.32%	129	61.14%	43	51.19%	17	54.84%	72	57.14%	99	59.64%	13	68.42%	60	58.82%
保護者・児童生徒の意向	185	38.22%	77	40.74%	79	37.44%	29	34.52%	14	45.16%	39	30.95%	58	34.94%	9	47.37%	46	45.10%
地域コミュニティへの影響	51	10.54%	26	13.76%	16	7.58%	9	10.71%	3	9.68%	9	7.14%	17	10.24%	0	0.00%	12	11.76%
教職員の業務負担の軽減	128	26.45%	51	26.98%	50	23.70%	27	32.14%	6	19.35%	38	30.16%	42	25.30%	5	26.32%	26	25.49%
学校施設・設備の整備	119	24.59%	44	23.28%	59	27.96%	16	19.05%	4	12.90%	38	30.16%	35	21.08%	5	26.32%	30	29.41%
市のまちづくりの将来ビジョン	33	6.82%	15	7.94%	12	5.69%	6	7.14%	2	6.45%	7	5.56%	10	6.02%	1	5.26%	10	9.80%
その他(　　)	6	1.24%	1	0.53%	3	1.42%	2	2.38%	1	3.23%	2	1.59%	2	1.20%	1	5.26%	0	0.00%

（自由記述）
第3部3その他　学校教育について御意見・御要望があればご記入ください。
第4部　　今後の江田島市の学校のあり方について、御意見・御感想などございましたら、御記入ください。

【校則について】
私服と制服に別れているが、統一にすべきではないかと感じる。また、白の靴下や白の靴といった指定をやめるべきかと感じる。
公立なので特色と言えないものは例えば部活に入ること、上着のこと部活時間など一律にしてほしい
通学時での自転車適用。 制服廃止の統一。 白以外の靴、靴下希望。 呉服店だけの購入以外を検討。地元の店に駐車場がなく困った。
学期事にいじめアンケートがありますが、学年、生徒名、保護者名いりますか？？　アンケートですよね？？　何かある人だけ名前入れるとかでいい気がします。見聞きしたことでも書いたら呼び出されて聞かれるのが面倒だから(生徒が)、適当になると思いますが。 後、学校の校則。身だしなみ系。髪型や、セーター、コートなど。時代、状況に合わせてください。昭和の様な校則で、母の中学の時代と同じ様な校則ですが。
【働き方改革について】
行事(運動会・発表会)は日曜日に行ってほしい。土曜日休みじゃない人もいます。
主に平日に行われる学校行事の頻度やあり方。 PTAへの任意という名の強制加入。それに伴う、保護者間における活動内容の不平等。解散できないのであれば、希望者は費用を負担し外部へ委託できるようになど選択肢があるべき。 地域行事への強制的な参加呼びかけ。過疎化がすすみ学校も合併しているにもかかわらず、個別地域行事などを存続させたい一部の地域住民による過度な呼びかけ。多くの家庭が核家族であり共働きの世帯や祖父母も仕事をしている世帯が多いのが現実であり、高齢者の理想とする地域作りとの差を感じ得ない。地域行事も合同し規模縮小すべき。地域との結びつきば大事であるが、古い時代の常識を改めていない高齢者も多く、防犯意識の低さからデメリットの方が大きいと考える。
発表会や運動会などが簡素化、同じことの繰り返し、教員での作業が大変なら保護者アンケートや役員などを積極的に利用するなどして幅やアイデアを広げる工夫をするとよいと思う。高学年や中学など人数が少ない分、生徒がもっと色々担当して経験させてもよいと思う。教員の定時が早くなるのは構わないが、仕事中に連絡を受けてもとれないので、個人メールなどを登録して学校と連絡手段にしてもらえると助かる。子どものタブレット活用でもよいです。
国の規定などあるので難しいとは思いますが、子どもの人数が少なくなっても教職員の人数を維持？多めに配置して、教職員1人当たりの負担を減らしてほしい。(担任や副担任を複数配置、学年ごとのサポート教員など)その分、子どもたち一人一人への細かい支援をお願いしたい。
先生方はとても大変だと思います 先生でなくてもいい業務はどんどん他の業種に渡していけばいいと思います でないと、先生の質が下がっていくと思います いい先生から悪い先生まで、色んな人がいる方が子供や親の経験になっていいと思うのですが、悪い先生ばかりになると、少ない良い先生が潰れてしまいます 子供が就職先に学校を選びたくなるような環境が一番良いですね
教職員方々の負担が大きいのではないかと常々感じております。負担を減らすために家庭や地域で出きるものは移行していってほしいです。
子供が毎日楽しく学校生活を送れるよう、先生方もなるべくストレスなく穏やかに仕事ができる環境を作っていただきたいです。
都市部の小学校と比べて、さまざまな学びに差が出ないようにしたい。 どうしてもいつも同じメンバーで遊んでおり、多様化が進まなかったり、リーダーとなる子の発言が強くなったりしがちかなと。 子どもらしい柔軟な発想をいかせる先生がいらして、とても素敵だなと思っています。 学校の先生それぞれにも個性がありとても素敵だなと思う反面、先生ひとりひとりに負担が多いような気がしています。 子どもと接する時間を一番大事にできる仕組みの簡素化や、報告業務の簡素化も必要だと感じています。
【教員の資質について】
もう少し子供達に寄りそった教育関心を持っていただきたい。
中学校の先生がネイルをしていますが、教育現場で必要ですか？
教師の資質が低い　教員の労働環境がメインの学校になっている
こども達の個別性を見て対応できる教育環境、教員を作っていく必要性があると思います。
誰1人取り残されない教育として、学校が勉強だけでなく、学力だけを評価される場所ではなく、楽しいと思える場所であって欲しい。どんな学校だったら不登校のこどもがでないのか。また先生方には現在の不登校の子への寄り添い方も勉強して欲しい。 こども園、小学校、中学校、大柿高校。 島全体で連携のとれた教育。地域も巻き込みみんなで子どもたちを育てる意識がもてたらいいと思います。
モラルのない中学校の先生がいます。先生の教育も必要なのかなと思います。
不倫している教職員の方がいると噂で聞いたことがあるのですが、教育上よろしくないと思います。
教職員の能力の向上。特に中学校の英語や音楽といった専門科目は、教職員の能力によって、子ども達の力の差が出やすいと思います。
全国的に教員不足が目立ちますが、江田島にいる教員たちは、江田島のことが好き、という人が来てくれたらいいなと思います、 どうしても市外からの人は、不便さや、田舎、というイメージを強く持たれていると思いますが、先生たちも江田島は自然豊かないいところ！と思ってくれたら、教育を受ける子供たちももっと江田島の素晴らしいところに気がついてくれる気がします。
教員の教育
広島県は教員の性犯罪が何件かニュースになっていた。来年からDBSが導入されるが、我が子が安全な学校で性犯罪の被害者になることは絶対に避けたい。江田島市の教育現場では、どのように注意しているか、知りたい。 例えば、教員と子ども1対1の密室は避ける、など。特に8歳以下を好むペドフィリアは男児も対象となることも多いので、その辺りも踏まえ、対策を知りたい。
【教員の指導について】
もっと人権、道徳、いじめについて、子供らに人とはこうあるべきと指導し、また、それらを軽くみてる教師の道徳指導を強化すべき。わたしは上の2人のうち、一番うえは長年いじめに、だまってひとりがたえつづけてきました。それらを学校は軽くかんがえ、みてみぬふりに近い状況でした。わたしは子供らは未来だから子供らのためにはなんでもやりたいとおもいますが、教師がつまらんということが残ねんでなりません。もっと教師のほうが教育、仁義を学ぶべき。子供こそ未来。
今の時代ハラスメントなどを気にしながらのお仕事だと思うのですがいつもありがとうございます　教職員さんも無理なさらないように頑張ってください
指導という名の上から目線の指導が多いと感じる。子どもを子ども扱いしすぎだと思う。
上の子のクラスでは、何か問題が起きた時の対応を見ていると、担任の先生は『どちらが悪い』『誰が悪い』と言った犯人探しみたいなところに一生懸命になっていて、『何故そういうことが起きてしまったのか』『やってしまった人はなんでそんなことをしてしまったのか？』『自分が同じことをされてもイヤではないのか？』『どうしたらこんなことがまた起こらないようにできるか』というところを子どもたちと話し合ったり、子どもたちと一緒に考えるということをしていないように思います。 学校は裁きをつけるところではなくて、教育の場なのだから、担任の先生はじめ先生方には子どもたちの様子を平等な目で(この子はそういう子！いつも悪さをしている、、等色眼鏡で見ずに)きちんと見てあげてほしいなと思います。 小学校・中学校・高校と学年が進めば進むほど、親の手を離れ、学校や友だちと過ごす時間が増える中、家庭で子どもを見守るのはもちろんのことですが、一緒にいる時間が長い先生に信頼を寄せられないようでは学校教育そのものに不信感を抱いてしまいます。 子ども自身の口からも、『先生の言ってることなんかちょっと変よね？』と言われることがあるので正直そういうところはどうなのかな…と、改善の余地があるのではないかと思います。
学力の低下が気になる。江田島市内と市外での学力差がある様に思う。進学して困らない学力をつける様であって欲しい。
全体的な学力の底上げが必要。田舎だから学力が低い、とならないように学力をつけて欲しい
全体的な学力が低い。特に中学校。都心部との格差があるのは非常に問題である。人数が少ない特色を活かして、公営塾等の運営などを考えてほしい。せめて、全国平均くらいの学力は身に付けさせてほしい。
これからはタブレットの時代なんだろうけど、タブレットばかりで、読み書きが曖昧になってます。タブレット兼ノートにまとめる授業もとりいれてほしいなとおもいます。
ICTも今の時代は必要だと思うが、低学年は特に書くことが大事だと思う。漢字が全然書けない。ICTは5.6年生から重点的に取り組む方がいいのではないか。
支援学級への取り組みが気になる
通常級と知的支援学級それぞれに子供が在籍していますが、どちらも今のところ楽しく学校に通っています。 支援学級では個人のニーズに応じて対応をして頂き感謝しています。 通常級では色々なお友達と切磋琢磨しながらも、自己肯定感を持てるような子になって欲しいと思っています。 運動は苦手ですが学習や日常生活での頑張りが評価されるようなシステムがあると嬉しいです。
回覧板で提示されている資料を見ると、学力が全国平均、全国平均以下であったように記憶している。少人数であり、きめ細かな指導とあるが、学力は結果としてでてない。結果、少人数+固定メンバーで競い合いがないこと、は大きいのかもしれない。 また、学力結果は算数が低く、これに関する評価を提示されていたが、結果として改善がみられないのが気にかかる。
自由進度授業はやめて欲しいです。出来る子は良いけど、自分で進めていくことが難しい生徒の学力は下がるし先生あっての授業をして欲しいです。
自由進度学習制度をやめてもらいたい
教師が義理人情、道徳についてもっと真剣に学ぶべき。ささいなことでも、子供らにとってはでかい傷ゆえ、きっちりむきあい、ただすべき。いま、どの先生も保身しか考えてないとおもう。保護者につっこまれるんがそんなに怖いか。たったひとりの生徒もまもりきらんで、それで教師になった自分の志しに満足なんか。うちの娘は転校させました。校長ってのはもっと真剣に保護者にでも怒れる人間がなるべき立場だとおもいます。あつちで当たり障りなくこっちで当たり障りなく。つまらん学校だとしかおもいません。わたしは●小しか選択肢がないのに、不安しかなった。もう少しまともな人選をしたほおがよい。教師もふくめて。わたしは一生忘れない。娘には一生の傷が残っているはずだからです。

個々に合わせた指導に努めていただきたいです。

どうしても教育現場は時代錯誤のイメージがあり、前例主義が強いイメージがある。どんどん先進的な試みを導入してほしい。保護者からの意見も、聞くだけで改善されたことはほとんどない。もっと学力を上げることを考えてください。

教職員の負担の軽減は必要ではあるが、全体の学力を下げるようなやり方はやめて欲しい。教師はきちんと勉強を教えてほしい。

中学校に上がると授業が難しくなり成績が著しく下がるのでついていけない生徒に補習等があれば良いと思います

【教育内容について】

閉鎖的になりがちなイメージなため、島外でのコミュニケーションや活動にも力を入れると良いかと思う。

30年以上前、小さい頃から田舎特有の教育を受けてきた身としては、とても楽しくて有意義な学校生活だったと思います。

例えば健康診断の際、今の身長や体重だけでなく推移が分かるようグラフにすることや標準偏差としてどの範囲に入っているか視覚的にわかりやすくするなどあれば医師以外に身長が止まるタイミングが早いなど気づくことができる確率を上げることができるのかなと思う。細かいところを少しずつ改善できるような態勢をとってほしい。

子どもからの聞き取り感じたこと
（高学年の複式、自由進度学習）
一人一台のパソコンの弊害‥先生が見ていない時に好きなアニメキャラクターなどをのぞいたりしている様子。それにつられて一緒に見たりする子もいる。注意をすると指摘を受けている子は怒りという行動をみせる。休憩時間もタブレット中　　心に過ごしている子どももいると聞くと、自宅でもデジタルに触れ（自宅での過ごし方は各家庭もちろん自由です。）学校でもデジタル環境。いつ脳を発達させたり、脳を休ませたりするのかな、と‥。前頭葉はデジタルスクリーンで深刻な悪影響を受けてしまうとされている。（これについてはたくさんの本が出版されています）今後おこりうるであろう脳の発達不全が気になります。
これは子ども側が課題ではなく、その環境を作っている大人（教育、家庭）の課題だと思っています。
運動すること、自然に触れて五感を使うことで脳は健全に発達していくと考えます。
以上の観点から、
まだまだ脳が未発達な年齢である小1から小6のiCT教育は必要がないと思う。
海外（ハイテク企業が集まるシリコンバレーを例とする）ではローテク教育が主流としていて自然教育が好まれている。江田島に移住してきた理由が海と山に囲まれ自然の中で子どもを育てていけると考えたから。実際住んでみると海のプラスチックゴミだったり、外から見えない身近に感じる課題も沢山あります。これもまた学びに繋がります。現在の学校教育（江田島だけに限らず）はタブレットが中心となっているので非常にもったいないです。
タブレットが主流の教育はここ10年くらいで一気に加速していると感じておりますが人類の長い歴史からみても子どもの脳は都合よく急速に発達はしていきません。じっくりゆっくり丁寧に、子どもが子どもらしく自然を日常に味わえる環境を学校教育に求めています。もちろん、家庭教育があってこそなので学校と家庭、できれば地域の方たちと一緒に大切な子ども達を育てていくのが理想と考えています。
給食についても思うこと。
毎日身体に入れる給食。身体にとってとても大切なミネラルを含んでいるお塩にこだわっていただきたい。野菜も江田島産。そしてまずは一種類からでも良いのオーガニック野菜を給食に使っていただきたい。（かなり難しい事は承知の上ですが貴重な機会なのであえてかかせていただきました。）
フェリーなどを使えば広島市内へのアクセスも良く自然が多く残る江田島。学校存続を考える上で魅力ある教育環境は欠かせないと考えます。

江田島ならではの教育を大事にして欲しいです。江田島に住んでいると、身近に畑があることや、海があることを当たり前のように感じますが、市外の親子たちは、わざわざお金を払って、自然の体験をしに夏休みなど来ています。
一旦江田島を離れてみて、江田島の良さに気づく人も多いと思いますが、住んでいる子供たちや親、家族やお友達が、この地域に住んで楽しい、と思えることが大事だと思います。
江田島は自衛隊さんの出入りもあり、転勤族もいれば、親の代からの永住組もいて、色々な形の家族がいます。昔ならではの田舎のナワバリ、があまりないのもいいところだと思います。色々な人と交流をして、自然豊かな江田島でのびのびと子育てや教育をしていきたいです。

現時点ではこれといった特色がなく、島だからこそ色々な機会が少ないことのカバーが出来ていないと感じています。

子ども園の教育について、先生の負担もあるかとは思うが、送迎時に子どもたちはテレビを見て、先生はお話ししているところを見ることがあるが違和感を感じる。地域協力も得ながら活動的な時間にしてほしい。
また、個人的に小学校までは学校の勉強よりもさまざまな遊びや体験をして正解が1つではない問題を解決する力を養うことが大切だと思っている。江田島の地域資源を活かして子どもたちが学校の外でいろいろ感じていけるようにしてほしい。

小中学校では、江田島市だからできること、例えば、水泳はたまに海で行う、釣りをする、牡蠣の見学など、興味を持てるように体験をすることが増えれば、いいと思う。
それを踏まえ、大柿高校では普通科とは別に、体育コースのように水曜日の午後は専門のことをする特色コースを作れば、市内外から人を呼び込めるのでは？と思う。
高校にそういう事があると知れば、先に記述したように、小中学校の体験がいきて、先に小中学校からこっちの学校に通ってみようという考えにつながるのではないか。
本当に人を増やしたいとか、存続を考えるのならば、他とは違った特色を持った、その場限りで終わってしまう計画ではない、長期的に見ての改革が必要ではないでしょうか。
こちらから広島の高校に通えるのだから、広島から島に通うことは、そんなに難しいことではないと思うので、もっと子どもたちが小さいうちから江田島は身近だということを広島近郊の小中学校に伝えることも大事だと思う。
高校のことはわからないけれど、小学校は以前と比べていろんな江田島ならではの体験が増え、とてもいいと思っています。
街に住んでいる友人からは、SUP体験、無人島、着衣泳など、うらやましがられましたよ。
でも、先生方の負担を考えると、やりすぎもよくないので、ほどほどに学校でやり、それをいかしてさらに体験できるような会を市が主催するとか、いいと思います。得意な方に頼むとその方の収入にもなり、相乗効果じゃないですかね。

宿題は本当に必要ですか？世界では宿題がない国の方が学力が高い様です。子供が帰ってからの大切な時間や長期休暇の大切な成長なる日々を宿題に追われる事になっているのでは？子供達の充実した日々と時間を大切にしてほしいです。是非江田島からオランダなどのヨーロッパ諸国の様な宿題無しで能力を伸ばす教育を発信して頂きたいです。

他の小学校の保護者の方と話をする機会があり、宿題の量にとても差があると知り、現在の宿題の量を見る限り、基礎学力がちゃんと付くのか心配です。そして、それが今後、中学に上がった時、他の小学校から上がった子との学力に差が出るのではないかと心配しています。実際に他の保護者の方から、すでに学力に差が出ていると話を聞きました。

児童生徒数の減少の資料を拝見し、大変心配しております。島でも質の高い教育が受けられることを望みます。

江田島市内の各学校の学力は県内で上位ではないと思われます。
学力だけ各市町の学校の良しあしを判断する方も多いかもしれません。
江田島市の財政面だけでは大変だと思いますが、将来を見据えた中で島外に進学してもいづれは江田島市へ戻り起業等できるような環境づくりを今からおこなっていただきたいです。

ICTの活用は、何でもかんでも活用すればいいというのではないと思うが、低学年でも写真機能の活用などはできると思う。
能美中がギリシアの学校とオンラインでつながっているという記事を広報にはさまっている能美中のお便りで見たが、あのような取り組み（田舎にいても遠方と繋がれる等）こそ重要だと思う。

少人数だと世界観が小さくなる。多様性の時代に合わせ、様々な選択肢の中から子供自身が選べる教育になると良いと思う。

少子化は全国的な問題なので仕方ないと思います。けれども、江田島の教育が魅力的であれば、移住してくる子育て世代が増えるかもしれません。学力をしっかりつけ、自然体験が充実している学校になって欲しいと思います。

通学している中学校で中間テストが実施されていないので、中間テストと期末テストの両方を実施してほしい。

田舎特有の学校のあり方は継続すべきだと思います。シンプルに子供を増やすことを考えるべき。それに限ります。

みんなが同じ様に育てる教育ではなく、個人の個性を伸ばす様な教育であって欲しいです。

こどもの人数が減っていく中どんな形であっても学ぶことが楽しいと思える学校であってほしい。島外に出やすい環境であることも有難いが、高校まで安心して教育を受けられる環境であってほしい。誰もが島外に出られるということもなく色々な家庭環境があると思う。
学校を維持していくことで地域も活性化する。
維持する方法として島留学や地域みらい留学を取り入れ、全国から生徒を集めると島のこどもたちの刺激にもなり多様な学びにもなると思う。

子ども理解を深め、江田島らしい教育をデザインするためには、子どもが実際にどう感じているのか、という「適応感」という視点が重要ではないかと思う。COCOLOプランでも示される通り、教育をデザインするためのエビデンスを持たないと重層支援構造の中でもとりわけ大切なプロアクティブな生徒指導体制は作れない。これまでの教育からすると少し馴染まないかもしれないが、3ページの教育の概要、この部分は、取り組むこと、すること、ではなく、例えば「自分や仲間が大切な存在だと感じ孤独、孤立しない・江田島に愛された人材なんだと感じる」など教育を受けた子どもたち視点の文脈で表現したら、育成像の輪郭、解像度が明確になって、地域も教員も手を取りやすくなるのではないか。

江田島にしかできないことを全面にPRしながら、地産地消給食や体験授業など江田島で力を入れることのできる強みをもって、市外への層へもアプローチしながら（民泊などでも高校の宣伝など）、学校統合により経費をおさえることが可能なら、その点を魅力をより活かせる学校作りに当てるなどし、島ならではのよさが消えてしまわないような学校づくりを期待します。

学生時代から島だからこそできる体験（海に関する取り組みや農家の取り組み）を有効に増やし、島でも働ける、良さを伝えられる人材の育成も必要かと思います。

教育が魅力的な江田島市になってほしいと思います。その為に、今まで無かったようなアイディアで思い切った学校改革をしていくべきだと思います。

田舎の良さを生かしつつ、子供たちが都会の子に負けないくらいの体験や授業ができる学校であって欲しいと思っています。

少子化が進み、各地域の学校クラス人数が減ってしまうことでクラス替えができなかったり部活動に選択肢がなくなってしまうことが心配です。各学年1クラスとなると、お友達の中で合う合わない相手が必ず出てくる中で、学年が同じ場合は何年も苦しむことになることが心配です。全体的に何事も選択肢が少ないことがとても残念に感じます。

児童数の減少による、教職員数の確保の難しさなどの課題はあるが、児童・生徒、保護者、教職員、地域にとって、よりよい、より魅力ある学校づくりという視点を大切にしてほしい。他自治体の取り組みなどを参考にしながら、楽しく、魅力ある学校づくりを、児童・生徒、保護者もいっしょに考えていきたいです。

地域の強みを最大限に生かしてほしい。子供達もその方がここで学んだ良さを実感して大人になり、将来戻ってきたり、いい形で地元に貢献しようと思えると思う。
特色が大事。
里海学習はとてもよい。
地元の企業との連携もよいし、さとうみ科学館とどんどん連載してて欲しい。
無人島へ行く企画もとても良い。
それを内外にどんどんアピールしてほしい。学校教育に魅力を感じて移住を考える人も少なくないと思う。
里海学習だけでなく、地域の良さを活かしてどんどん特色を打ち出してほしい。三高小が昔やっていたヨーロッパの方の教育ように、ふきりった特色を出すべきだと思う。
学校だけでなく、幼児教育も。
長時間テレビを見せている話も聞く。これだけ自然豊かな環境にある。是非安全に配慮した上で、海に遊びに行く等してほしい。見守りボランティアなど、協力者はたくさんいると思う。

【校内体制について】

事情はあるにせよ学校や園での年度途中の担任の入れ替わり、特に学校での年度途中の入れ替わりは理由も教えられずなにか思うところがありました。

地域ごとにどのような特色があるのか、子供だけでなく、先生方や保護者も学ぶ必要があると思う。コミュニティスクールの実現にはそういった大人たちの学び場としての取り組みが必要だと思う。
市立の学校、施設としてだけで考えるのでなく地域づくり街づくりとしてどう残していくかを考えていかなければいけないと思います
様々な理由から学校へ馴染めず学校へ通えない子ども達がいます。その親や子どもが孤立していかないような居場所や体制づくりも併せて必要だと思います。
島の中の学校同士の入れ替え授業（例えば、大古小学校と鹿川小学校4年生同士など）や他校への訪問見学などあれば互いの発見や自分の学校の良さや課題に気付けるのではないか。（先生ではなく子ども達が行う） 子どもの減少は現実的に止められるものではないことを踏まえて、もっと地域の学校同士の積極的な交流を増やし、島全体の教育向上に繋げてほしい。
中学校ですが、国で決まっているのか42人以上？でないと2クラスに分けられないとなっている様ですが、体も大きくなって1クラスでは狭いと思いますし、授業によっては2クラスに分けたりしているみたいです。そんなやり方をするくらいなら江田島市独自で20人ずつに分けてゆったりと授業を、受けさせて欲しいです。 授業参観で見ていて窮屈そうでした
支援級の児童や不登校児の行き場や配慮なども市全体で真剣に取り組んで欲しい。 教師や保護者任せの部分が大いにあると思う。
人数が少ない分良いところもありますが、井の中の蛙になるのではないかとも思います。せめて他の小中学校との交流など、横のつながりで切磋琢磨できたらと思います。
こどもの人数が減っていくのはどうしても避けられないと思います 既存のかたちをそのまま残そうとするのは難しいと思うので、異年齢や地域を巻き込んだ学びを展開していってほしいと思います
6年生を複式学級にするのはやめてもらいたい。中学校前の準備期間で、大切な時期なので。
同じクラスの子が同じ地域にいない場合、親としてその地域の小学校、中学校に進学は考えるものがあるので、スクールバス等の交通手段を検討して欲しいです。また学校にはまだ通ってないので実際は分かりかねるところがありますが、複式学級において、単純に2クラス分の授業の準備をすると思うと先生方の負担もかなりのものではないのかと思います。授業の質、先生の質を高める意味でも先生方の働きやすさも非常に大事だと思いました。
【その他】
給食の量少なすぎ
保育園ではなく、こども園なので、学習面ももう少しサポートして欲しい。
以前は広島市内の保育園に通わせておりましたが、こちらの江田島のこども園では海が近いことで海での学習があったり、広々とした園庭で遊べたり、雨の日ではホールでサーキットやトランポリンなど学びと体力づくりをしており、子どもも楽しそうに遊んでおります。 意見や要望ではなく、申し訳ないのですが、この場をおかりして、感謝申し上げます。
大柿高校の存続が生徒の夢を叶えることとの因果関係が不明確と感じた。 客観的には競争力が生まれる市内への進学が良さそうに見える。大柿高校へのサポートにより少人数である事を逆に活かしてより細やかな教育を行える等具体的魅力が知りたいと感じた。
目指す教育はもっともだ。ただ、これらを実現するための取り組みは、参考資料からは明らかになっていない。個別最適な学びには、各自への動機付けと目標設定、子どもへの評価が授業の中に組まれていかないと、実現できない。また、協働的な学びの実現には、深い対話が可能になる情緒的な交流が生まれていないと、学びの土台にならない。また、筆箱の形について指定があるものの理由に合理性納得性がない、休み時間の過ごし方に制約があるものの意図がわからない、多様性への配慮という割に時間割が配布されないなど、子ども理解、教育委員会の目指すもの、が置き去りにされたまま、昨年踏襲ルールがかなり長い間、文化という名のもとに続いていると感じている。「鹿川の謎ルール」と言う言葉を聞かれたことはあるだろうか。保護者同士の会話で、実は結構出ていて、非常に不健康な状態だと思う。目指す教育を目指すための教員の意識改革、研修を進めてほしい。「教育の江田島」としてブランディングできれば、若い移住者が増え、統廃合危機への対応も明るくなるだろう。
大柿高校に、過去警察沙汰を起こした生徒が入学し入学後も問題を起こしているが、先生もその親と生徒を恐れてかしっかりと指導できていない。その子が原因で学校を辞めた子もいると聞いている。昔の大柿高校に戻ってきていて、せっかく地元に公立高校があるのにそんな学校には通わせたくない。実際定員割れしてきていて存続の危機を感じる。 生徒数が欲しいからと誰でも入学させるのはどうかと思う。 先生も生徒によって指導の仕方が違うと聞いている。小中学校より、大柿高校が一番心配だ。
先日の説明会に参加させていただきました。コミュニティスクール、さとうみ教育、図書館のリニューアルなど、現在取り組まれている内容は、とてもすばらしいものだと思います。 こどもが小学校、こども園に通っていますが、これらの取り組みについて、十分に知りませんでした。 まずは、保護者が、江田島市の現状や、今後の展望、現在取り組んでいらっしゃる内容について知ることが大事だと思います。 先日の説明会の内容を、ぜひ、学校PTA総会や、こども園の保護者会などでお話しいただけたらと思いました。
先生が地元のことを知らないので、地域学習がたまにとんちんかんだと感じます。地域の方との繋がりはもっと共有されるべきだと思います。 毎回一からの関係づくりだと勿体ないと思います。 また外国にルーツのある子どもたちが、安心して学べる場所づくりが重要だと思います。 今後、江田島の働き手を担ってくれる大切な子どもたちなので、日本語教育を基礎からしっかりと教えてあげる必要があると感じています。 教職員の方を中心にサポートスタッフ（日本語教育経験者）を常駐させるなどの配慮が必要です。
①距離により自転車通学とあるが、場所によっては自転車通学を許可してほしい。部活帰りとなると帰宅時間かかり暗闇の中帰宅してき猪や不審者などの危険を伴いそう。 ②いじめによる加害者の転校はないのか？処罰を与えるべきではないのか？ ③中学校の下校時刻に記載はしないのか？バス出発時間しかなく下校時刻が何時なのか知りたい。 ④制服廃止か統一。白色廃止。
学校は知識、技能を身につける場であるし、人間関係、コミュニケーションを身につける場でもあると思います。 今までの学校や教育を変えようとするとどうしても不便は生じるし、みんなにとって都合のいいものにはならないと思います。 だから、こうするのが良いという明確な答えはまだわかりませんが江田島市の学校のあり方としてどうすることがよいのか改めて考えてみようと思います。
Firts thank you for this opportunity to be part of this project and to share the experience with the community and to share our thoughts about the future of this community and thank you to the teachers and staff who helped us create the best school environment for the students, （訳　まず、このプロジェクトに参加し、コミュニティと経験を共有し、このコミュニティの将来についての考えを共有する機会をいただいたことに感謝いたします。また、生徒たちにとって最高の学校環境を作るのに協力してくれた教師とスタッフに感謝します。）
学校のあり方とはそれてしまいますが、我が家の校区だと転校生などがいない限りこども園から中学校までメンバーが変わらないので、そこを懸念しています。 中学校入学時の多感な時期に新たな友達ができるというのも一つ大きな経験だと思うので、それを経験させてあげられないことが残念です。
教育にかかるお金が高すぎる。 交通費などの負担が大きい。 部活も習えるスポーツなど選ぶものが少ないので、江田島外地域スポーツで頑張る子に対して公休などの配慮や、横断幕の援助などがない。 クラスの人数が多すぎて先生がみきれてない印象、小学校の授業についていけない子のサポートがなさすぎる。 お年寄り、妊婦さんには手厚いですが、小学生くらいからの子育てへかかる負担が大きすぎる。 給食費や諸費、交通費など子供が多ければ負担が大きい。 物価高騰のため食費もかかっています。 お金に困っているのは、乳児とお年寄りだけではないのに、中間層への補助がなさすぎる。 できれば江田島から出て子育てするほうがいいと思う。 コミュニティも狭すぎて、子供のコミュニティ能力も低い。 あまりに子育てへの魅力が無さすぎて、この先も江田島から子供はいなくなり続けると思います。
統合するのはしょうがない事ですが 例）高田と中町の場合 中町に学校があるので子供会などの行事は中町優先になりすぎる。 今は卒業したので関係ないですが、高田の親は役員になっても中町の盆バザーは手伝わなくて良いという特別枠があるけれど実際そんなルールいらない。 手伝えばいい。そして同等に高田の盆祭りも同じ扱いで小学校の役員として地域を盛り上げるべきだと思う。 平等均等で無いのがおかしいと思いながら過ごしました。小学校のやり方がおかしいので親も住んでるちいきそっちのけで今では高田の盆踊りには子供会も参加しなくなったので地域のお年寄りの役員さんがとても残念がられてたのを今年聞きました。
対策などしても子供が増える訳でも無く複数の学校を合併させても過疎地域は（通学手段や金銭面などの不安等で）更に過疎化を進めるだけなのでどの地域でも子供を産めるようにして欲しい。 ごく一部の方と思われますが時折マナーや躾のなってない学生を見かけます。 このご時世で厳しい教育も難しいと思いますが もう少しマナーや言葉遣い等しっかり教えて欲しい。 教職員さんがいつも頑張られてる姿を目にします！お身体に気を付けてこれからも元気にお仕事頑張ってください。
江田島市は、人口減少の対策ばかりに目を向けず、人口が増えるための対策や子育て支援について調査・実践することが急務です。その上で、学校の在り方については、地域・家庭とともに、子どもたちひとりひとりの資質をそれぞれが能動的に活かせる機会と場づくり、子どもらに大人の在り方、生き様から豊かな人生への希望をみせることを最前で行う必要があります。
PTA、子供会等を任意加入にしてほしい。いまだに強制的に加入はおかしい。PTAに入った記憶が無いのに強制的に入っていたのはおかしい
生徒数の減少は人口にも関わる問題でもあり、行政が点ではなく横の繋がりの強化をはかり線として考えていくべき課題だと思います。 江田島市内の学校をぐるぐる回る教員が多いと感じます。教育の質を上げるためにも様々な学校で勤務すべきと感じています。 子供に対しての小中の教員の考え方が全く違うので、連携が取れておらず、生徒はどっちの言葉を信じて行動すべきか困る時があります。
中小は校舎が古いので、能中に統合してはどうでしょうか？

統合等迅速に進めつつも、しっかりと運営しているフリースクールを市運営で立ち上げて欲しい。 あとプールの老朽化がどこも進んでいるので、市内で一ヶ所屋内プールを建設し、着衣泳など島の子ども特有の危険から身を守る方法や、泳力、体力を身につけてほしい。屋内ならそれらを、各学校で一年間のスケジュールで経験しやすくなる。（屋外での運動が今後夏季に入ると益々できなくなると思うので）
少子化は全国的な問題であり解決は難しい。魅力のある教育プログラムでこどもの育てる環境が良ければ島から離れて行く人を減らすことができるのではないか。行政と連携してこども達がさまざまな体験ができるよう、また市の行事にこども達が参加しやすい取り組みをすることが市の活性化にもつながると思う。
もっと地域連携したほうがいい
毎日通学する形から、通学とオンラインの併用などを検討しても良いのではないか。座学は、校舎や最寄りの児童館などで受講し、実技は登校するなどすれば、統廃合した後の通学時間についても軽減を図ることができる。なお、通学に活用される島内のバスについても自動運転を推進し、運行本数を確保していくべき。交通量の多い朝晩は有人運行し、日中は無人とできれば、運転手の負担軽減、確保の課題解消に役立つのではないか。 教育面で島の特色を活かすことは大賛成である。一時的には学力面の低下など進学への不安は生じるが、結局、社会に出た時に、課題を見つけ、粘り強く、自主的に取組んでいく姿勢は、旧来の日本の教育では限界がある。何かを得るためには、犠牲を払う覚悟が必要。子どもの頃に、没頭して、自主的に取組む姿勢を身に着けさせることが大切。 都市部から離島の学校に通う生徒がいる所もあると聞く。都市部の学力重視の教育についていけなかったり、いじめが原因で別の場所を探した結果が離島の学校を選択したと聞いた。しかし、魅力ある教育を提供することは、負の側面からの選択ではなく、是非、島の学校に通わせたいとプラス面からの選択が期待できる。移住（人口増）や実技の日だけ登校（交通機関の利用数向上）の二次的効果も視野に入ってくる。
江田島市に子供が増える取り組みを自治体、江田島市、広島県全体で考えていきたい。
学校に行かない選択をした子供たちへの適切なフォローとバックアップを通学している子供たちと同等のレベルでできるようにしてください。「不登校」ではなく登校するか自宅学習か選択できる仕組みづくりと、江田島市民の古い価値観の払拭を目指した大人の意識改革をお願いします。
帰宅部よりも部活動に参加することを選んでほしいのでもっと選択肢がほしい。 部活動だけは他の学校と合同で、活動できるようにしてもらいたい
江田島に住むと決め、子供が生まれた時に一番不安だったのは、子供の人数の少なさでした。自分がこんなに少ない環境で育った経験がないから故の不安だと思っています。実際、この中（江田島や人数が少ないところ）で育った人たちに話を聞くと、避けられない人間関係を子どものうちから学ぶことが出来た、などプラスの面を知れました。ただ、やはり江田島だけの中で育てるのはとても小さな世界しか見れないと思っています。 ただ実際子どもを見ていて思うのは、人数が少ない分、一人ひとりの存在が大きいので、自分がやることの影響力、みたいなのを知らず知らずのうちに感じて、一人の力の大きさ、自分の出来ることの大きさ、みたいなのを感じており、市外の子と比べた時に一人ひとりの生き生きした感じが強いんじゃないかなと感じ、嬉しく思っています！
学校に通う目的を忘れない
今後人数が少ない理由で他の地区の学校に通うようになるかと思いますが、通学のバスを利用できるように考えていただきたいです。 三高はまだ小学校が存続していますが、低学年がもういないのと娘の同級生が全て能美の方に行ってしまうため、娘も能美の小学校に行かざるを得ないと思います。 しかし、仕事をしているため送り迎えが難しいと考えています。 子どもの学校のためには仕事を変えないといけなくなる可能性もあります。正社員で働けない状況になるかもしれません。 親が仕事をしていても子どもが学校に通えるようにしていただきたいです。
【学校統合について（賛成的な意見、新たな学校づくりに関するもの）】
小学校も統合した方がいいと思う。せっかくこども園で一緒に過ごしてきたのに小学校で別れて中学から一緒になるなら小学校も一緒で過ごした方がいい
1つの小学校に統合すべき。
人口は減少し、こどもたちの数は減少することは確定的です。 学校の統廃合を進め、予算や人材の選択と集中をし持続可能な学校教育体制の構築を求めます。
教職員の負担を減らし、地域へアウトソーシング。地域全体で子供を支える。学校の統廃合を進め、適正な学級数の維持を目指し、通学支援を実施。
認定子ども園のうみの子どもは、中町小学校と鹿川小学校に分かれます。子ども園のときでも人数が少なかったのに、小学生になると別れることになり、とても衝撃で意味がわかりません。同じ小学校でいいのでは？
複式学級が増えると学習を進めたい子どもにとってはとても不利な環境になってしまうと考えます。生徒数、教員数が少ないのであれば、学校を統合して適切な指導が行える環境を整えるべきだと思います。 高校に関しては、生徒の進路や江田島市内での就職分野の割合などを検討し、卒業後にそのまま就職できるような学習に力を入れてはどうかと思いました。
各町に小中学校を1つずつ、江田島市に1つ高校があってほしい。
教育委員会と学校が、本来の仕事である子ども達の教育に全力を注げる様に、江田島市の規模にあった学校に早々に集約し、本来の教育の充実に対して集中出来る様に、江田島市民として協力をしたい。
・家庭や地域での教育力も学校での教育力も落ちてきているように感じます。 ・小中を統合して一貫校に出来たら解決出来る問題がありそう。 ・大柿高校の公営塾の小中版があればいいのになと思った事があります。
教育は大事だが学校や地域や家庭ごちゃ混ぜにすると結果良くない方向にいきがち。どちらかというと区別し必要に応じて連携するだけの方が子供にとってわかりやすいし各方面の不満は少ないと考えます。学級数が減るなら統合しスクールバスなどで対応した方が良い。
これからさらに進む少子化に伴い、学校の適正配置を進めることは避けて通れないとと感じます。こどもたちに良好な学習環境を提供するには、設備、職員体制、生徒数など、どれも重要です。これからどうすることが、こどもにとってベストなのかという視点で考えるべきだと思います。
人口が減少しているのだから、統合はやむを得ないと思う
複式学級を避けるように学校を統合してほしい
タブレット学習などの進歩により、自宅からでも授業参加が出来るような工夫をして、通信制高校のように、週2ぐらいで体育など、通学の必要な副教科を固めた時間割作成をし、統廃合したあとの子どもたちの通学問題が解消出来ればいいなと思う。 全国学力･学習状況調査で全国平均以上が出ている自治体なので、少人数制教育が実を結んでいるのではないかと思っています。
複式学級が存在する学校については、統合してもいいのではないかと思います。 ただ、通学手段をしっかりと確保することが必要だと思います。
1つの小学校に統合すべき
統合になるとしたら学校指定を地区ごとではなく、個々で選べる形にしてほしい。
生徒数が足りないなら、運動会や発表会などは合同で行うなどそれぞれの学校の特徴を合わせてやるなどすればよいと思う。小学生までは登校や地域での繋がりを考えると引き離すのは難しいと思う。学校の数の分、教員の定数が必要なので中学はまとめて総合学校みたいにしてもよいかなと思う、今はクラブなどで行く場所を選んでいるので、その分豊富なクラブ選択などが出来ると思います
通学手段を支援することで学校の統廃合を進め、リソースの集約を図るべき。子供の数が少なくなる以上、学校そのものの数を減らすことは避けられない。
私は、統合し複数クラスで授業が受けれる環境を希望します。
全ての住民の要望をかなえることは不可能なので、今後の少子化のことを考慮すると、統廃合はやむを得ないと思います。いたずらに人件費と維持管理費がかかるだけなので、数を減らして質をあげる方が効果的だと考えます。
生徒数が少なくなることに対する対策 江田島の中央の学校に集中させるなど その場合端の学校はどうするか？
最終的には小学中学を1つにまとめて市で1つの学校になるという最終形態を見越して、統廃合を進めるべき。中小と能中を運営統合するなど、早い段階で、小中一貫のモデル校を使っても良いと思う。

アンケートの参考資料の構成から今後の小中学校の再編は免れないのかなという印象を受けました。 我が家は子どもが3人おり、一番下はまだ未就学児なので、安心して学校に通える環境がこれからも続いて欲しいなと思っています。 小規模校であっても、行き届いたコミュニケーションの中で子供が安心して過ごせたら良いなと思っていますが、小規模ならではのデメリットもさまざまにあることが、今回よく分かりました。 人間関係の固定化は自分も嫌だなと思っているので、ある程度の規模は必要な気もします。
人数が少ないなら統合するべき
先生方の業務負担軽減のためにも、生徒が少人数の学校は統合していく方向にすすんだ方がいいと思います。小学校高学年の子どもに聞いても、クラス替えはあったほうがいいとのことでした。 部活動の地域展開に関しては、送迎が親負担にならないように配慮していただきたいです。
小中学生は互いにコミュニケーションを取り合いながら様々な経験を経ることで成長すると考えます。クラスの人数は多いに越したことはなく、積極的に統合を進めてでも確保すべきであると考えます。
部活の関係で指定校がいの学校に通わせていますが、市の路線の始発時刻が登校時間に間に合わないので、毎朝車で送っています 学校を統合するなら、スクールバスをもっと増やすか、統合した学校をもっとも集まる場所(江南とか)に作り、江田島バスで登下校できるようにするなど考えないといけないと思います 小中学生なので、バスに乗っている時間は30分ー40分程度が限度と思います 江田島バスが通らない場所、あるいは江田島バスで3、40分以上かかる場所の場合はスクールバスになるしかないと思います となると、スクールバスの台数が莫大になると思うので、市内のタクシー会社に委託し、普通のタクシーで主要路線のバス停まで乗るや、ダイレクトに学校に登校する 下校は路線バスかスクールバス帰ってくるのが遅くなるのが嫌な家庭は、各自が迎えにいけばいいと思います そうすることで、小学校は今の半分か1/3に中学校はひとつにできるのではないでしょうか
こども園と同様、鹿川小と中町小が一緒になれば人数が確保できて良いのでは。と、思う。
能美町には「こども園のうみ」があり、主に鹿川、中町、沖美町の子どもたちが通園していて卒園すると鹿川小学校と中町小学校に分かれてしまいます。 中学校では能美中学校でまた一緒になります。 できることなら小学校でも一緒に過ごすことができると良いと思います。
児童数が減れば合併はしょうがないと思う。その場合の交通手段等(親の負担軽減)を市がしっかりと管理してくれれば反対も少ないのでは？ 後は子供が増える江田島市、手当てが厚い等、子育てしやすい市にして少子化を押さえるためにもっと税金を使っては？ 大柿高校は人数が少ないので先生との距離が近くて良いと謳ってますが、生徒が先生をバカにしているようにしかみえません。 生徒もですが、教員の意識強化を求めます。
今回の検討委員会での意見を基に、スピード感を持って規模の適正化を行って欲しい。保護者ではない市民の意見に左右されないように。5年後10年後に江田島市の学校に通う子ども達が、充実した施設、充実した教育を受けられる様に、江田島市の子どもを第一に考えた教育行政の働きに期待する。
児童生徒数の減少は避けられないことなので、統廃合は必然の事と思います。江田島の学校に行きたいと市外からも子どもが来るようにするためには、思い切って学校を特色あるものにしたら良いのにと思います。遠方から島に通うのは難しいとなれば寮を設ける必要があります。 江田島の魅力は何かを見直すと特色あるものの1つには豊かな自然があります。さとうみ学習、耕作放棄地となっている田畑や山や竹、技術を持った地域の方々など、活かしきれていない宝がたくさんあります。 小中学校の一貫学校または中高一貫校なども視野に入れた上での再編を検討して頂けたらと思います。
既に複式だったり、児童数0の学年があり、今後も増加が見込めないのであれば、早く対応して欲しい。先行き心配で、転校等も考え始めている人もいます。
生徒は減っていくのだから統合は仕方のない事です。統合すれば、施設の設備費用や、先生の確保などの負担も今よりは減ります。 生徒も増えて活気も湧いてくるし、行事なども楽しいと思う。
島にいる子どもたちが充実した学習、活動を行うために、ある程度人数が必要だと思います。
地域から学校が無くなってしまうのは寂しいですが、メンバーもほとんど変わらず1学年30人以下の環境で中学・高校まで過ごすのは人間関係の構築、環境変化への対応能力に影響が出てしまうのではないかと思う部分もあります。 せめて、1学年35人あるいは20人程度でも2クラスあると良いなと思います。
児童数減少の為、学校の統合は、仕方ないと思うが、仮に、島に、小　中学校が、1校ずつとなった時、通学時間を考慮したら、現在ある学校の、場所では、通学時間の差が出来る為、新しい学校の、場所を検討した方が、いいのでは、無いか？
成長過程で少人数で育つことは、閉鎖的で、偏った思考に陥りやすくなるので、高校進学時に不登校になる方も多いと聞いたので不安に思っています。
クラス替えがずっとない状態だと、クラスが少し荒れた時に子供達も先生方もしんどいなと見ていて感じます。 また現状こども園からの持ち上がりでこども園～中学校まで変わらないメンバーで、人間関係が固定化されることが子どもにとってどのような影響を与えるのだろうと心配しています。 一方で、せっかくこども園～中学校まで同じならそこを活かした一貫教育があってもよいのでは？と思います。 上の子のとき、人数が少ない分、市内の企業の方とコラボレーションしたりイベントで市外に行ったり、とてもいい経験をさせて頂きました。 人数が少ないこそできる経験だったな、とてもいい経験だったなと親として思います。
学校の数を減らし、教育の質を上げて欲しい。
【学校統合について(反対的な意見のもの)】
13が最も核心的な事項だと思いますが、適正化・適正配置に「学校の統合」が含まれ、それを検討することは重要ですが、人口に応じて統合することには反対。
現在の学校規模を維持するためには、子育て世帯を移住させたり、若者世代が江田島市に定住するようにしなければならないので、そういった施策を見直すべき。少子化・人口減少問題を根本的に見直し、学校規模が維持できるように、市全体で考えることが必要だと思う。
廃校＝地域衰退に繋がってくると思うので、児童数減少したらすぐ統合ではなく、空き教室をいろいろな拠点に転換するなど活用していくことも検討してほしい。
学校の適正配置について。 今でさえスクールバス等で遠距離通学している児童・生徒も多く、これ以上学校の統廃合が進むと、子どもたちの負担が大きくなると思われます。それを保護者が敬遠→なお人口減少の加速という魔のスパイラルになると思います。 適正配置もそうですが、どうやったら人口を維持できるかという事を合わせて考えて行くべきではないかと思います。
統合はなるべく避けてほしい。どの学校へいこうと、定期代の補助を出すとか。中学だとやりたい部活のある中学に通えるようにするとか。給食試食会で試食した時の量の少なさにびっくりしました。 たまたまかもしれませんが、おかず一品！ 部活動も合併して練習場所遠くなり仕事の事が多いのでバスをだしてほしい。 路線バスでも時間的にないので！
・少人数の学校で複合クラスにも魅力を感じて切串小を選んだので、少子化に応じて学校を減らすのは賛成できない。統合によって100年以上続いてきた学校と地域のつながりが一気に弱くなると危惧する。高齢のボランティアさんは、歩ける距離に学校があるから車に乗れなくても歩いて学校に来てくれる。統合して学校が遠くなると、そうした方が地域学習や読み聞かせ、行事などに参加できなくなってしまう。 ・市内でも学校によって雰囲気だけでなく、細かなルールとか慣習がかなり違うと感じます。統合による子供のストレス、不登校へとつながらないよう配慮が必要。 ・江田島中学は江田島小と切串小の子が通っているけれど、切串小方面は市バスが通っていないので、スクールバスに乗るしかない。たとえば寝坊したとか、午前中体調悪くて午後から学校に行こうと思っても、市バスがなくて親も仕事だと学校へ行く手段がない。市バスが通っている地域に住んでいる子は市バスに乗れるので、その点で格差が生じるなと感じる。 ・子連れの移住者がもっと増えるよう、教育だけでなく島としての魅力の発信が必要。同じ規模の島や過疎地で成功している例があればもっと取り入れていくべき。
ここ数年、小学校入学時に移住してくる家族が増えてきたように感じます。学校を減らすより移住者を増やす方にもっと力を入れてほしい。
江田島市の特色ある自然や文化を通じた学習の発展と少子化が進んでもできる限り統廃合せず、教員数を維持して一人一人に寄り添った指導ができるようにすべきである。学校の教諭数の定数を人数が少なくとも減らさないように国に働きかけて教員の業務負担軽減も図るべきである。
現状の学校の数から減らないことを願います
【アンケート内容について】
7番と14番の質問は保護者側に聞いても、よく分からないと思います。それは学校サイド、教職員側が考えなければならないことなので、この二つとの質問は保護者には理解し難いのでは。
こんなことにお金使わずに子供にお金使えばいんじゃないですか
最初の質問の選択肢にこどもを通わせているどろんこ園がありませんでした。
両親共働き世帯がほとんどであることをもっと考えてほしい。母親の負担割合が多い。
一度学校をなくしてしまうと再び再開することは不可能に近いと思う。特認校制度などを取り入れ、江田島市の特色を生かした教育を行い、できる限り学校を残していってもらいたい。小規模のメリットに対して、それがプラスと捉えるか、マイナスに捉えるかは人それぞれ。マイナス面やデメリットをどうリカバリーする教育を行うか考えるのが必要だと思います。冊子についてですが、もっと写真や具体例入れるなどわかりやすくまとめた方が保護者には伝わりやすいと思います。文章だらけで、日々忙しい保護者にとってたは読みづらいです。
このアンケート対象としてそもそも在校生の保護者を対象としているが、その他地域住民についてのアンケートも必要だと思う。例えば学校数の適正化は予算の制約によるものも大きいと思うが交流センターが増えていることも関係していると思う。このアンケートで学校の適正化に問題なさそうであればそれを推進していくという部分だけでなく多角的に見る必要があると思っており、例えば地域住民に学校の維持か交流センターの維持か、意見も多様だと思う。学校の生徒数の推移から適正かどうかを仰ぐだけでなく、交流センターの利用者数の推移なども判断材料として持ってきて判断を仰ぐ必要があるのではないか
江田島市の存続さえも分からない状況下であるため、江田島市外の学校レベルを子供達や保護者にも認識させる必要はあると感じる。
この回答に時間をかけるのが無駄
メリットの部分の回答が、保護者目線ではなく、学校側や先生目線のようだったので、よくわからなかった。子ども回答する、体験したうえでの設問ならいいけど、自分が体験したわけではないので、答えにくかったです。 例えば、大人数でも、1人1人に行き届いた指導をされている先生もいらっしゃると思います。
高校までは島内で行けるように、高校は残していただいたほうがありがたいです。
いつも生徒のためご尽力くださりありがとうございます
このようなアンケート結果での統合に向けた方針決定はやめてほしい